

# まんが版公共施設等総合管理計画

幅広い世代への情報発信ツール

九州インフラマネジメント技術部 ひがしぐち 東口 てるひさ 晃久  
 事業戦略部 さとう 佐藤 たかし 隆  
 西日本空間データセンター さとう 佐藤 ゆうせい 裕生

## はじめに

全国の自治体においては、人口増加や経済成長に伴う市民ニーズに対応して、道路や学校、公園といった公共施設等<sup>\*1</sup>の整備を進めてきました。こうした公共施設等の多くは1970～80年代に集中的に整備されており、今後、老朽化に伴う建て替えや大規模修繕等の更新時期を集中して迎えます。公共施設等の更新のためには多額の経費が必要となる一方、人口減少・少子高齢化の進行に伴い、自治体の財政状況はより一層厳しくなると予想されます。また、公共施設等の整備後は時間の経過とともに、利用者の年齢層や必要とされる機能など社会状況も変化しており、現在そして将来の市民ニーズに対応していく

ことが必要です。そのため、2014（平成26）年に、国から全自治体に対して、公共施設等総合管理計画の策定に取り組むよう、要請がなされました。これを受け、平成27年度と28年度にわたり、全国の自治体から公共施設等総合管理計画策定業務が集中的に発注されることとなりました。

ここでは、ゆくはしし行橋市の公共施設等総合管理計画策定において、より多くの住民の理解を得るためのツールとして作成した「まんが版ゆくはしし行橋市公共施設等総合管理計画」を紹介します。

## 公共施設等総合管理計画とは

公共施設等総合管理計画とは、表1の内容を記載した市の計画です。

計画策定にあたっては、最初に市が保有する公共施設等を正確に把握し、固定資産台帳を作成することからはじめます。また、耐用年数等の情報をもとに、将来必要となる維持管理・修繕・更新費用の推計を行い、将来の人口減少・少子高齢化や財政状況を踏まえた課題を抽出します。

さらに、課題を解決するため、長寿命化、統合（集約）や廃止の推進など、公共施設等の管理に関する基本的な考え方を定め、今後の公共施設等の管理や運営の方向性を示す計画書となります。

表1 公共施設等総合管理計画の記載内容

1. 公共施設等の現況及び将来の見通し
  - ①老朽化の状況、利用状況
  - ②将来人口、年代別人口の今後の見通し
  - ③財政の現状と将来の見通し
  - ④公共施設等の維持管理、修繕、更新費用の将来の見通し
2. 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針
  - ①計画期間
  - ②全庁的な取組体制
  - ③現状や課題の基本認識
  - ④公共施設等の管理に関する基本的な考え方  
点検・診断、維持管理・修繕・更新等、安全確保、耐震化、長寿命化、統合や廃止の推進などの方針
  - ⑤フォローアップの実施方針など

注)当該技術紹介に掲載している全ての図の無断転載・無断使用を禁止します。

# まんが版公共施設総合管理計画の作成

公共施設等総合管理計画は、文章による説明が中心で、専門用語も多く使われているため、気軽に読めるものではありません。しかしながら、今後の計画に基づく事業の推進にあたっては、住民の方々の協力が不可欠であり、この計画を幅広い年齢層、特に市の将来を担う若い世代に周知する必要があります。そのため、住民が行橋市の直面している現状を認識し、持続可能な公共サービス

の提供に今何が必要かといった課題と行政の取組みを理解していただく必要がありました。そこで、計画書の概要版として、エッセンスのみを示し、さらに視覚的にイメージしやすく、気軽に手に取って読んでいただける「まんが版行橋市公共施設等総合管理計画」を提案し、作成しました。まんが版の作成手順は表2に、完成版は図1に示すとおりです。

表2 まんが版作成の手順

1. 対象年齢の設定。今回は将来を担う中学生を中心に幅広い年齢層に設定。
2. まんがの概略ストーリー、キャラクター設定を提案します。このとき、お客様が最も訴えたいこと、キーワードを必ず含めます。
3. 現状・課題・解決策・将来像といった起承転結を基本とするわかりやすいストーリーを提案。今回は、人口減 ⇒ 公共施設の削減が必要 ⇒ 減らすだけでいいのか ⇒ 必要な施設はあるし、運営方法も工夫できる ⇒ 施設が減っても魅力ある街を存続 ⇒ 「選択と集中」の考えが必要 ⇒ 将来の街のイメージ
4. ページごとにセリフ、カットを割り当て、お客様とまんがのイメージを作成します。
5. まんがが家複数によるタッチを示し、お客様のイメージに合ったまんがに仕上げます。

計画書本編では

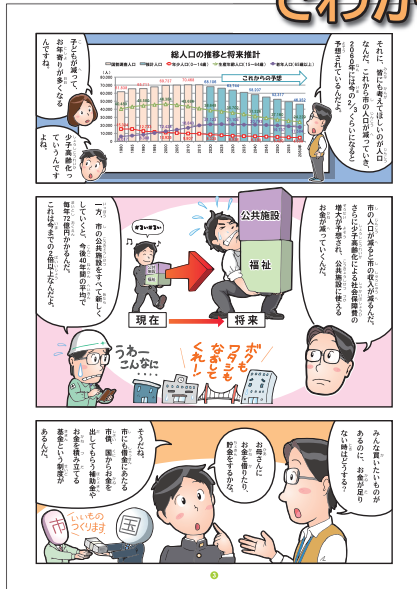


## 視覚的なイメージでわかりやすく

まんが版では

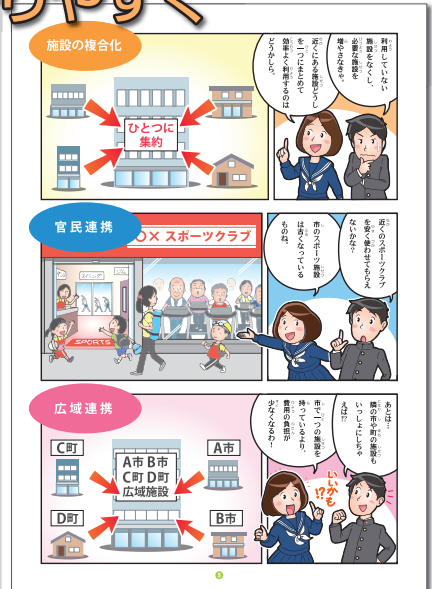


表紙



行橋市の現状と将来の説明

図1 まんが版への転換



管理の基本方針の説明

## おわりに

公共施設等総合管理計画を「まんが版」にしたことで、より多くの住民に読んでいただき、今後の行橋市の公共施設等の現状や将来に興味を持っていただけるものと考え

えています。アジア航測で扱う計画策定業務には様々なものがありますが、住民への情報発信として「まんが版」は、一つの有効なツールになると考えます。

※1 公共施設等：公共施設、公用施設その他の当該地方公共団体が所有する建築物その他の工作物をいう。具体的には、いわゆるハコモノの他、道路・橋りょう等の土木構造物、公営企業の施設（下水道、下水道等）、プラント系施設（廃棄物処理場、斎場、浄水場、汚水処理場等）等も含む包括的な概念である。